

# 正味財産増減計算書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1. 経常増減の部</b>			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	4,788,801	5,664,732	△ 875,931
受取会費	710,000	720,000	△ 10,000
事業収益	83,735,468	84,385,270	△ 649,802
受取補助金等	5,734,000	6,610,000	△ 876,000
雑収益	161,490	42,530	118,960
<b>経常収益計</b>	<b>95,129,759</b>	<b>97,422,532</b>	<b>△ 2,292,773</b>
(2) 経常費用			
<b>事業費</b>	<b>99,842,109</b>	<b>98,969,777</b>	<b>872,332</b>
給料手当	8,344,933	5,564,510	2,780,423
福利厚生費	1,219,393	629,185	590,208
旅費交通費	307,359	158,317	149,042
通信運搬費	155,659	88,068	67,591
消耗品費	1,212,470	1,442,791	△ 230,321
支払負担金	950,000	1,000,000	△ 50,000
委託費	2,841,250	2,970,000	△ 128,750
雑費	695,038	748,048	△ 53,010
支払交付金	62,924,008	63,740,534	△ 816,526
印刷製本費	3,658,510	3,630,125	15,670
広告費	1,461,999	1,440,999	21,000
賃借料	411,690	396,020	15,670
支払助成金	12,668,999	12,983,180	△ 314,181
公募事業助成金	2,990,801	4,178,000	△ 1,187,199
<b>管理費</b>	<b>2,876,043</b>	<b>2,049,832</b>	<b>826,211</b>
給料手当	927,200	618,000	309,200
福利厚生費	179,320	70,000	109,320
会議費	140,660	75,210	65,450
交際費	13,851	37,932	△ 24,081
旅費交通費	187,245	199,412	△ 12,167
通信運搬費	262,222	262,147	75
消耗品費	258,161	227,529	30,632
地代家賃	132,357	115,770	16,587
租税公課	322,900	0	322,900
支払負担金	252,000	252,000	0
雑費	200,127	191,832	8,295
<b>経常費用計</b>	<b>102,718,152</b>	<b>101,019,609</b>	<b>1,698,543</b>
<b>当期経常増減額</b>	<b>△ 7,588,393</b>	<b>△ 3,597,077</b>	<b>△ 3,991,316</b>
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>△ 7,588,393</b>	<b>△ 3,597,077</b>	<b>△ 3,991,316</b>
一般正味財産期首残高	35,812,080	39,409,157	△ 3,597,077
一般正味財産期末残高	28,223,687	35,812,080	△ 7,588,393
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
受取寄付金	1,257,125	264,882	992,243
基本財産受取利息	4,788,801	5,664,732	△ 875,931
基本財産評価損益	2,174,496	4,302,252	△ 2,127,756
一般正味財産への振替額	△ 4,788,801	△ 5,664,732	875,931
<b>当期指定正味財産増減額</b>	<b>3,431,621</b>	<b>4,567,134</b>	<b>△ 1,135,513</b>
指定正味財産期首残高	599,695,965	595,128,831	4,567,134
指定正味財産期末残高	603,127,586	599,695,965	3,431,621
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>631,351,273</b>	<b>635,508,045</b>	<b>△ 4,156,772</b>

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法  
 満期保有目的の債券・・・移動平均法による償却原価法(定額法)  
 その他の有価証券(時価のあるもの)・・・決算日の市場価格等に基づく時価法
- (2) 消費税の会計処理は、税込方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	3,429,101	1,257,125	3,008,856	1,677,370
投資有価証券	596,266,864	2,174,496	△ 3,008,856	601,450,216
小 計	599,695,965	3,431,621	—	603,127,586
特定資産	—	—	—	—
小 計	—	—	—	—
合 計	599,695,965	3,431,621	—	603,127,586

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
定期預金	1,677,370	1,677,370	—	—
投資有価証券	601,450,216	601,450,216	—	—
小 計	603,127,586	603,127,586	—	—
特定資産	—	—	—	—
小 計	—	—	—	—
合 計	603,127,586	603,127,586	—	—

4 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	帳簿価額	時価	評価損益
海外債券			
円建為替リンク債	50,000,000	43,898,000	△ 6,102,000
パワーリバースデュアル債	100,000,000	75,080,000	△ 24,920,000
パワーリバースデュアル債	100,000,000	74,464,000	△ 25,536,000
合 計	250,000,000	193,442,000	△ 56,558,000

5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金 緑と水の森林基金助成金	(社)国土緑化推 進機構	0	4,684,000	4,684,000	0	
緑の募金推進体制整備 交付金	(社)国土緑化推 進機構	0	1,050,000	1,050,000	0	

6 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次の通りである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息の振替額	4,788,801
合 計	4,788,801